柑橘

４月の農作業管理

周防大島統括本部

「一果入魂」こだわりを持った生産管理に努めよう

管理作業を計画的に行い、高品質・安定生産をめざしましょう。

※注意※　Ｍダイファー水和剤１０月までしか使用できないため在庫管理には注意しましょう。

４月の主な管理

時期	使用目的	使用薬剤
４月上・下旬	発芽促進	尿素 500 倍、リンクエース 2,000 倍
中旬	そうか病	デランフロアブル 1,000 倍又は、ナティーボフロアブル 1,500 倍

1.春芽の伸長確保

①　裏年の選定

今年は裏年の樹が多いため、充実した春芽（結果母枝）の確保が中心となります。

②　春肥の施用

新梢の伸長促進をうながすため、まだ施用していない方は早めに行いましょう。

③　発芽促進

４月上旬には発芽・緑化促進の尿素 500 倍+リンクエース 2000 倍を、下旬には樹勢強化のために、尿素+リンクエースを上旬と同じ倍率で葉面散布を行って下さい。

2.病害虫の防除

①　【そうか病】　〈防除適期〉

デランフロアブル　1,000 倍

または、ナティーボフロアブル　1,500 倍を散布

※デランで肌荒れ症状が発生する方は

ナティーボフロアブルを使用してください。



そうか病（葉）写真

②　【アブラムシ類】

新芽に多く発生しやすいため、多発している際には、ダントツ水溶剤　2,000～4,000 倍か、コルト顆粒水曜材を 4,000 倍で散布しましょう。

③　【黒点病対策】

耕種的防除にはなりますが、園地巡回をする際に枯れ枝を除去しておく事で後の生育に多々影響があるため、時間に余裕がある方は除去して被害軽減らしましょう。

3.苗木の管理

●植え付け

1.地上部の切り返し（30～40 ㎝のところで。盲芽に注意）

2.傷んだ根を切り返し、根部を水に浸透後定植する

3.植え付け

●肥料の施用

発芽が始まるので肥料をあげましょう。

柑橘有機配合１号（４月～７月の間に月１回施肥を行います。）

１年生　６０～７０ｇ／１樹／１回

２年生　７０～９０ｇ／１樹／１回

又は

スーパーＳＲコート７４５（定植１か月後）

●覆土・潅水

鎮圧しながら埋め戻し、潅水を行いましょう。：

●支柱立て

生育を促進するためには必ず支柱を立て、結束をしましょう。

落葉果樹　梅の管理

●アブラムシ類･･･発芽後　モスピラン顆粒水溶剤　２,０００倍（収穫前日まで）

●黒星病防除…４月上旬新梢伸長盛期　トップジンM水和剤　1,500 倍

５月上旬果実肥

ストロビードライフロアブル　2,000 倍

キウイフルーツの管理

●花腐細菌病対策

薬剤防除　時期…４月上旬～５月上旬

防除薬剤…コサイド 3000　2,000 倍

環状はく皮…多発園では開花約１ヶ月前に５㎜幅で地際から６０～１５０㎝の主幹部に施す。

水稲

コシヒカリの播種

準　備…種子消毒について

ＪＡより購入された種子については消毒済みのため、種子消毒の必要はありません。

播種時期…４月下旬～５月上旬

播種量…１５０g（１箱あたり）

※播種量が多いと苗が貧弱になり、また植えつけ本数が多くなるため、病害虫の発生や倒伏の原因になります